

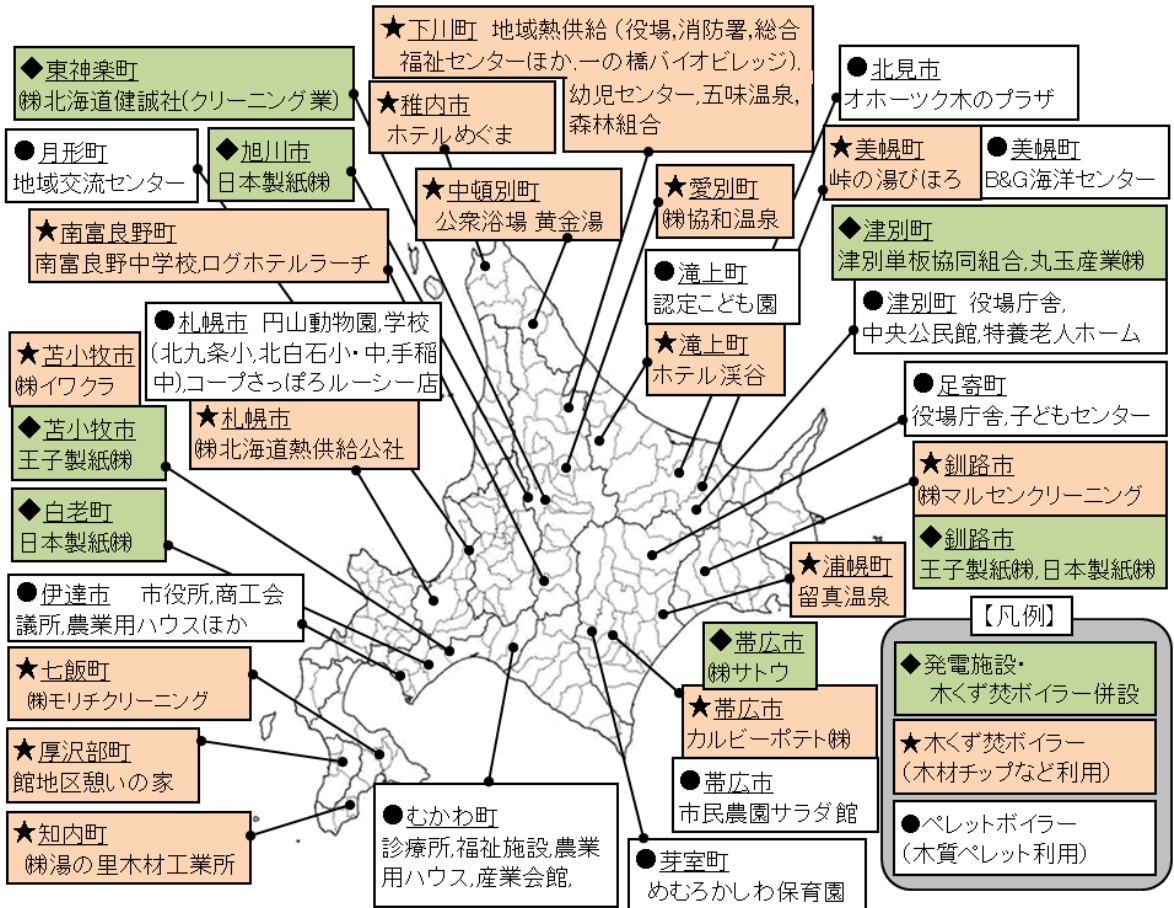
行政の窓

北海道の木質バイオマスエネルギーの利用状況

《北海道の木質バイオマスエネルギー利用促進の取組》

森林のバイオマスエネルギーとして有効に活用していくことは、森林整備の推進につながるとともに、地球温暖化の防止にも貢献する重要な取組であることから、道では、これまでバイオマス関連施設の整備やバイオマスの安定供給体制づくりなどに支援を行ってきました。再生可能エネルギー固定価格買取制度によるバイオマスの発電利用も含め、今後も、化石燃料に替わるエネルギーとして林地未利用材や製材工場端材などの木質バイオマスを有効に活用する取組に支援していきます。

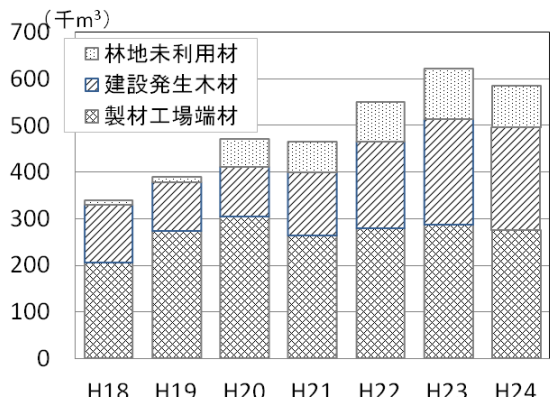
《道内の主な木質バイオマスエネルギー利用施設》



木質バイオマスエネルギーの利用施設の現況

(平成24年度)

発電施設：25基
 木くず焚ボイラー：97基
 ペレットボイラー：111基
 ペレットストーブ：2,213台
 (木くず焚ボイラー数には、発電施設利用のためのボイラーを含む)



《木質バイオマスエネルギー利用量の推移》

(北海道水産林務部林務局林業木材課需要推進グループ)